

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営理念

顧客・社員・社会に信頼される誠実な企業として、日本の製造業をソフトウェア技術で支える

営業利益率
10%以上

ROE
10%以上

2 中長期の経営戦略

1. 既存事業の強化・拡大

組込み主要顧客への選択と集中、公共関連事業の拡大、製造・流通及び業務システム関連事業の効率化を推進

3. 新技術・新事業の開拓

CASE関連開発、デジタルガバメント実行計画へのチャレンジ、トータルソリューションによる高付加価値システム提案

2. 新たな事業基盤の確立

パッケージメーカーとの技術連携、IoT事業によるDX推進、車載関連開発へのシフト、関東地区への事業展開

4. 生産体制の強化

ソフトウェア開発技術の競争力向上、開発パートナーの拡大、積極的採用と社内教育体制の充実

3 対処すべき課題

① 労働集約型から顧客事業協業型へ

- ・ DX支援ソリューション「PlusFORCE」の強化と営業・技術一体の受注体制構築
- ・ 技術者教育とリスクリングによる保有技術の多様化と柔軟な人材配置
- ・ 顧客の課題解決をIT技術でサポートする企業への転換

② 人材育成と組織力向上

- ・ 社員のキャリアパスとグループビジョンの合致による共成長の風土再構築
- ・ 上長のヒューマンスキル教育強化と女性管理職の育成促進
- ・ グループ制採用によるきめ細かいサポート体制の構築

③ 生産体制と新技術への対応

- ・ 第2新卒採用・キャリア採用強化で年間採用数の25%程度を確保
- ・ パートナー外注加工費が前期比22%増、重点パターン施策でWinWin関係構築
- ・ 生成AI、RPA、クラウド、ロボット技術の活用で顧客提案を加速

面接で使えるポイント

- ・ 製造業向けDX支援に注力し、AI・RPA・クラウド等の新技術習得で産業界の変化に対応
- ・ 年間採用数の25%を新卒・第2新卒・キャリア採用で確保し、人材育成と多様化を推進
- ・ SDGs実現に向けた「人が安全・安心して働ける製造現場」の実現を顧客システム開発で支援

証券コード 4430

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

要するに

1970年設立の独立系ソフトウェア開発会社

主力事業・セグメント

・ 情報・通信業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

・ 営業利益率10.5%の安定した収益性

・ 将来性評価は晴れ

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
107億円営業利益率
10.5%財務健康度
60点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 45.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収

632万円

情報・通信業内 346位/592社

平均年齢

36.0歳

情報・通信業内 414位/593社

平均勤続

11.0年

情報・通信業内 110位/593社

女性管理職

－（未開示）

男性育休

54.6%

情報・通信業内 253位/297社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

